

## 低温（夏期）についての技術対策

### 水稻

#### 【事前対策】

内容	チェック欄	備考
用排水路の整備、水口・水尻の調整器具の点検や、畦畔からの漏水を防止する。		
深耕や堆肥等の有機物の施用等日頃から土づくりに努める。		

#### 【事後対策】

内容	チェック欄	備考
掛け流しを止め、夜間かん水・昼間止め水や、昇温パイプ活用等水温の上昇に努める。分けつ期は浅水管理、幼穂形成期以降は深水管理を行う。		
生育期に低温が続けば、生育は遅延するので、追肥は生育診断により時期と施用量を見極めて適切に行う。		
いもち病が発生しやすいので、発生予察に基づき適期防除する。		
出穂後の低温は登熟が遅れるので、積算温度等を参考にして収穫を行う。		
ライスグレーダーの角度を小さくするなど強めの調整とし、未熟粒の除去に努める。		

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。